より効率的で質の高い審査のために —Useful & Easy Database Access System (UEDAS)の紹介— 特許審査第二部企画 WG

●はじめに

2007年1月に新たな特許行政の基本方針である、「イノ ベーション促進のための特許審査改革加速プラン(略称 AMARIプラン2007)」が策定され、更なる知的財産政策 の充実・強化ひいては審査の迅速化を図っていくことが 期待されています。

一方で、多数請求項の出願、外国出願、分割出願等の より審査パワーを必要とする出願は増加してきており、 これまで以上に効率的な審査が必要となってきています。

そのような中、より効率的で質の高い審査を行うため に、特許庁では、霞ヶ関でもトップクラスのIT化を推 進し、審査のためのシステム開発を行ってきているとこ ろですが、大規模なシステム開発となるとお金も時間も かかり、審査官のニーズに対してすぐに対応することは 現実的に難しいのが現状です。

そこで、審査部では、これら既存の審査システムに加え、 Microsoft[®] Office Excel等のマクロ機能を利用した、様々 な審査支援ツールを提供するなどして、審査官の細やか なニーズに対応しています。このような工夫は、日本国 特許庁特有のものであり、USPTO(米国特許商標庁)や EPO(欧州特許庁)では、行われていないようです。

しかしながら、様々なニーズに対応したツールが数多 く提供された結果、「どのツールを利用したら良いのかわ からない」、「複数のツールを別々に起動して使用しなけ ればならず使い勝手が悪い」等の意見が出されるように なり、情報過多、ツール間連携の希薄化という問題が顕 在化してきました。

●Useful & Easy Database Access System (UEDAS)とは

私達、二部企画WG(ワーキンググループ)では、こ

のような問題を解決する方法はないかと検討を始めまし た。WGメンバーからは、「審査の迅速化を図っていく中 で、特に、外国出願における他庁審査結果情報の取得が 重要」、「分割出願における親出願や子出願、同一出願人 の関連類似出願の審査状況やそれら出願内容の関連につ いてわかると良いのでは」、「新しい単一性の審査基準を 的確に運用するためには、請求項の引用関係を一目でわ かるようにして欲しい」、「膨大なマニュアルを読む必要 があったり、使用方法が難しいと使用する気がなくなる ので、簡易な方法で利用できるようにすべき」等の意見 が出され、検討の結果、以下のようなコンセプトに則っ たツールを提供することにしました。

Useful & Easy Database Access System (UEDAS) のコン セプト

- (1)特に審査パワーが必要と考えられる①多数請求項出 願②外国出願③分割出願④関連類似出願等の審査 に必要な情報を一括して提供可能であること。
- (2)シンプルな操作方法であること。
- (3)既存のツールを最大限活用することにより、新たな 操作方法を覚えることなく利用可能であること。

(4) ニーズに対応して進化が可能であること。

このようなコンセプトを基軸にしたUseful & Easy Database Access System (UEDAS)は、審査する対象の 出願番号を入力するだけで、①請求項の構造表示 ②出 願相関図(分割出願、優先権主張出願)③他庁審査結果情 報(ドシエシステム)④パテントファミリー情報⑤関連 類似案件一覧を一括して取得¹¹することができるツール です。

本ツールは、特許庁内の審査官端末でのみ使用可能と なっており、審査官以外の方には利用していただくこと

1)①請求項の構造表示については、対象となる特許請求の範囲の指定などが必要。

ができませんが、この記事をお読みいただき、私達審査 官が様々な工夫をしながら、迅速かつ的確な審査に努め ている姿を想像していただければと思います。また、特 許庁の審査官の皆様には、UEDASを再認識していただ くとともに、UEDASに対する意見、要望などをお寄せ いただけければ幸いです。

それでは、以下にUEDASの使用方法について紹介し ます。

●使用方法

(1) UEDASの基本的な使い方

最初にUEDASの基本的な使い方についてご紹介します。 UEDASには、審査において有用なオプション機能が 複数ありますが、これらの詳細については、次の「(2)個 別機能」のところでご紹介することとし、ここでは最も 簡単に情報が得られる操作方法をご紹介します。

○起動方法

(i)「審査効率化のためのツール (UEDAS)」ホームページ²の「UEDAS実行」ボタン(第1図)を押します。



第1図

- (ii)「UEDAS実行」ボタンが押されると、ディスプレイ た上にUEDASのフォーム(第2図)が表示されます。
- (iii)審査対象案件の出願番号を、UEDASのフォームの「出願番号」欄(第2図矢印)に入力します。
- (iv) UEDASのフォームの「出願番号」欄に出願番号が入 力されると、「実行」ボタン(第2図矢印)がアクティ ブとなります。アクティブとなった「実行」ボタン を押します。



(v)審査対象案件の情報が、高精細ディスプレイに表示されます(第3図参照)。

この情報を利用して、審査を行います。

(vi) UEDASが出力した結果(UEDASが出力したウィン ドウ)のみを消去したい場合は、UEDASのフォー ムの「結果消去」ボタンを押してください。(「結果消 去」ボタンを押すことで、第3図に表示される全ウィ ンドウを一度に閉じることができます。ウィンド ウを閉じるための×印を押す手間がなくなり、と ても便利です。)

UEDAS自体を終了したい場合は、UEDASのフォームの「終了」ボタンを押してください。

(2)個別機能

UEDASは、①請求項の構造解析機能 ②外国審査結 果情報表示機能 ③パテントファミリー表示機能 ④関 連類似案件の抽出機能 ⑤印刷機能 をオプション機能

2) URL: http://www.second-patent-examination-department.jpo.go.jp/Working_group/kikakuWG/contents/uedas/





として提供しています。

便利ツール紹介

オプション機能だからといって、マニュアル片手に行 わなければならないような煩わしい作業は全くありませ ん。UEDASのフォームのチェックボックスにチェック を入れるだけで、①~⑤のオプション機能をご利用いた だけます。

①請求項の構造解析機能

審査対象案件における請求項の引用関係を把握するた めに、請求項の構造を解析して、ツリー表示させる機能 です。ツリー表示により視覚的に請求項の構造を把握す ることができます。

特に、単一性要件の審査の際、どの請求項までが発明 の単一性の要件を問わずに審査対象とすべきかを視覚的 に捕らえることができます。

また、引用形式に誤りのある請求項(例:【請求項5】・・・ 請求項1~5のいずれか1項に記載の○△□装置)について は、【画面1】(第8図)に警告「警告(9):請求項Aは、自分 自身若しくはそれより後の請求項を引用しています。」を 表示し注意喚起します。

³⁾ AIPNのパテントファミリー情報を取得している。



○使用方法

- (i) UEDASのフォームの「クレーム構造表示を行う」(第4図)にチェックを入れます。
- (ii)チェックによりアクティブとなった「案件照会 (V3)」ボタン(第4図)を押します。
- (iii)「書類目録選択画面」がディスプレイに表示されます。審査着手時、最新の請求項が記載された書類(新 願着手時には当初明細書、再着手時には手続補正書 など)を「書類目録選択画面」より選択し、書類をウィ ンドウに表示します(第5図)。
- (iv)解析対象の請求項をウィンドウ上で選択し(第5
 図)、UEDASのフォームのボックスへ、コピー(Ctrl+C)&貼り付け(Ctrl+V)、または、ドラッグ・アンド・ドロップで入力します。
- (v)アクティブとなった「実行」ボタン(第5図)を押します。
- (vi)審査対象の請求項の構造が【画面1】(第8図)に出力 されます。

(※請求項の構造解析を行う場合、【画面1】に出願マスタ 項目照会は表示されません。)

②外国審查結果情報表示機能

UEDASでは、外国審査結果情報を取得する手段とし てFODAS、Epoline及びドシエ等アクセスアシスト⁴が 選択できます。 UEDASのフォームの「ドシエサイト」で好みのものを 選択することにより(第6図)、表示画面右上【画面2】に 外国審査結果情報が表示されます(第7,8図)。

Epolineを選択した場合では、欧州特許 (EP) 又は国際 公開 (WO) 文献がパテントファミリーとして存在してい れば、自動で欧州特許庁 (EPO) の審査結果情報を表示 します。

また、ドシエ等アクセスアシストを選択した場合には、 US、EP以外にも韓国(KR)、ドイツ(DE)、イギリス(GB) の外国審査結果情報も表示可能であり大変便利です。



4)ドシエ等アクセスアシストは、US,EP,KR,DE,GB,WOの各庁の審査結果情報等へ簡易にアクセスできるツールであり、審判部29部 門土居仁士氏が調整課審査企画室の依頼により開発したソフトウエアである。最新の情報を提供するため、特許審査第四部デジタル 通信の有志により、日々、データ更新が行われている。



③パテントファミリー表示機能

- 便利ツール紹介

UEDASの基本機能として、対象の出願にパテント ファミリーがある場合、【画面4】(第8図) にパテント ファミリーが表示されます。表示された公報番号をク リックするだけで、ファミリーである外国公報を表示 できます。

④関連類似案件の抽出機能

UEDASでは、対象の出願の関連類似案件の一括抽出 が可能です。関連類似案件の抽出にはまとめ案件情報取 得マクロ⁵⁵を利用しています。

また、上記抽出した関連類似案件をスクリーニング画 面上で一括閲覧できるように補助する機能を備えていま す。

○使用方法

- (i) UEDASのフォームの「まとめ案件情報を取得する」
 を選択すると、フォームの右側中央の「まとめ案件
 絞込条件」の選択が可能になります(第9図)。
- (ii)所望の絞込条件を選択すると(ただし「発明者」又は「出願人」は必ずチェックしてください。)、選択された条件で抽出された関連類似案件が【画面5】(第8図)に表示されます。抽出された案件の状態(未着手、起案待等)や、既に着手されている案件については、当該案件の担当官等を確認することができます。



第9図



5)まとめ案件情報取得マクロは、審査対象案件と同一の出願人、発明者、分類等の条件で対象となる出願を一括して抽出できるツール であり、特許審査第四部脇水佳弘氏が開発したソフトウエアである。



第11図

(iii)関連類似案件を一括閲覧する場合にはフォーム右上の「まとめ案件コピー」ボタンを押し(第10図)、文献番号照会画面の文献番号表示の部分に貼り付けることにより(第11図)、簡単に閲覧ができます。

⑤印刷機能

UEDASで取得した各種情報を印刷するためには、 フォーム右側の「出力結果印刷」で印刷したい情報にチェッ クをいれ、「印刷実行」ボタンを押して下さい(第12図)。



第12図

(3) その他機能

①環境保存機能

UEDASは、使用環境(ドシエサイトの選択、クレーム構造表示の有無等)を自動保存しますので、起動毎に これらの設定をし直す必要はありません。 ②メール通知機能

UEDASフォームの右下のメールアイコンから、二部企 画WGへメール送信ができます。UEDASのご質問や改善提 案等ございましたら、メールにて遠慮なくお知らせ下さい。

●おわりに

以上ご説明したとおり、本ツールはいかに簡単な操作・ わかりやすい操作画面で必要な情報にアクセスできるかを 重視して開発してきました。操作画面レイアウトやボタン の有効/無効などの視覚的効果については試行錯誤しつつ それなりの工夫を凝らしたつもりです。一度お試しいただ くとその便利さを実感していただけると思います。

審査業務効率化のお役に立てるよう本ツールは今後も バージョンアップを重ねていく予定です⁶⁾。現在のとこ ろ、最新クレーム取得の自動化や各種ツールへのリンク の追加、印刷機能の改善などをWG内で検討しておりま す。改善提案などございましたら、当WGまでお寄せい ただければ幸いです。

最後になりましたが、本ツールはその作成するきっか けともなりました便利な審査情報取得ツールなくしては 語ることができません。ドシエ等アクセスアシストの開 発者である審判部29部門土居仁士様、まとめ案件情報 取得マクロの開発者である特許審査第四部脇水佳弘様、 特許審査第四部審査調査室様には、御多忙のところ本 ツールの作成にご協力いただきありがとうございました。

また、各部情報WGのメンバーの皆様には、UEDAS を各審査室にて紹介していただきました。この場を借り て御礼申し上げます。

Profile	
▪ 特許審査第二部企画WG(ワーキン ググループ)	
メンバー	
今村 亘	福祉サービス機器(治療機器)
上田真誠	自動制御(流体制御)
岡澤 洋	生産機械(ロボティクス)
川上 佳	熱機器(冷却機器)

6)本内容は、2007年12月末時点での内容であり、これ以降、提供内容について変更等が発生している場合があります。

2008.1.30. no.248 115 tokugikon